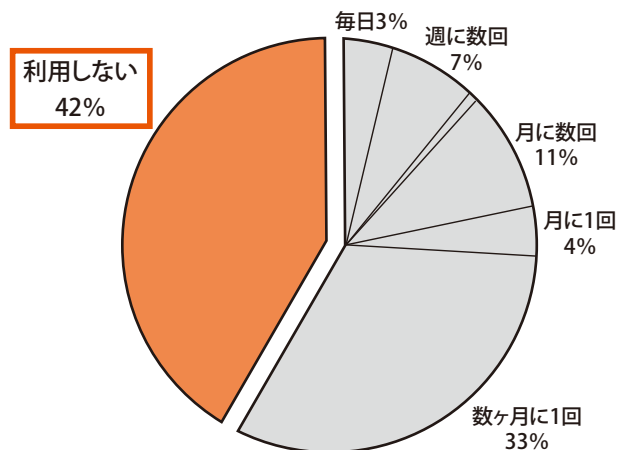


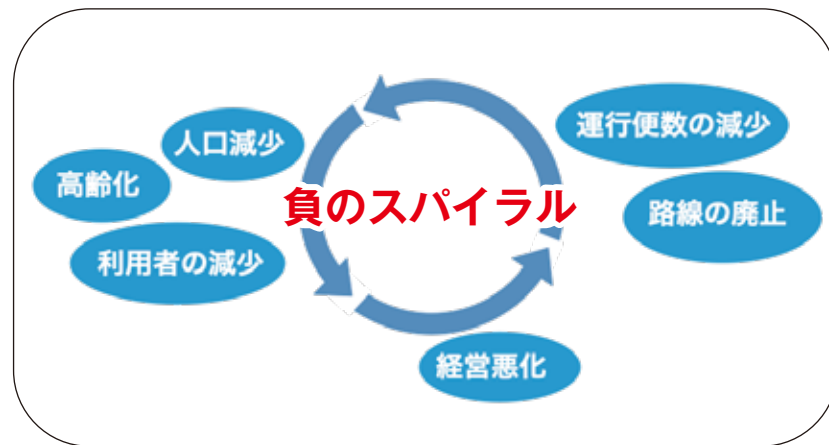
1 背景

人口減少や高齢化が進む中で、公共交通の利用者も減少傾向にあり、独自アンケートでは約4割の方が公共交通を利用しないと回答した(図1)。それに伴い、公共交通事業者は「負のスパイラル」に陥っており(図2)、公共交通の持続が困難となってしまうことが予測される。

学生や高齢者などの移動制約者にとっては、通学・通院・買い物等の日常生活において公共交通が欠かせないものであり、移動手段に困ることなく、安心・安全に暮らしていくためには、公共交通を未来へつなぐことが必要であると考えた。



▲公共交通の利用頻度(図1)



▲公共交通事業者を取り巻く現状(図2)

2 課題

私たちは公共交通を持続させていくためには、「利用者減少」「車依存」「利便性の低さ」の3つの課題があり、これらを山に見立て、乗り越えることで持続可能な公共交通につながると考えた。

そのためには「利用促進」「車依存の脱却」「利便性の向上」といった観点から対策を行い、普段から公共交通が移動手段の選択肢となるような環境を整えることが求められる。



持続が困難な公共交通

1.利用者減少

- 公共交通への関心が薄い
- 利用客が少ない
- 公共交通に乗る習慣がない
- 利用料金が高い

2.車依存

- 車中心のまちづくり
- 歩こうとしない
- 公共交通を利用する選択肢がない
- 駐車場が多い

3.利便性の低さ

- 乗り継ぎが不便
- 交通網の未発達
- 路線図がわかりにくい
- 便数が少ない

3 政策提言

(1) 学生乗り放題 ～青春フリーパス～

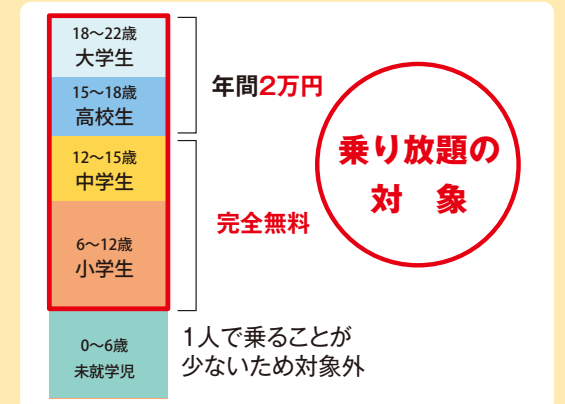
利用促進

- ①学生は移動制約者で移動の手段として公共交通を利用する。
- ②学生は経済的に自立していないので利用料金の負担が大きい。
- ③学生の頃から公共交通を利用することで乗り慣れてもらう。

以上の点を考えて…

【事業概要】

- ①小学生・中学生に対しては無料での乗り放題。(市町村全額補助)
- ②高校生・22歳以下大学生に関しては、学費の中に年間交通費として2万円を組み込むことで、公共交通を乗り放題とする。(特急列車・観光列車・タクシーは対象外)



▲学生乗り放題の概要

(2)マイカー禁止エリア～よっちょれマイカー～

車依存の脱却

公共交通での移動が選択肢に無い、あるいは近い距離でも車で移動してしまうといった車依存の状態に陥っている高知県民。加えて、ロードサイド店舗の増加や、まちの中心部での空き地・空き店舗の駐車場化といった車中心のまちづくりが車依存を助長している。

以上の点を考えて…

【事業概要】

- ①まちの中心部でのマイカー移動を禁止。事業所(商店)等への搬入・搬出は車両登録制とし、登録車両のみ通行を許可する。
- ②マイカー禁止エリア内にある既存駐車場の撤去費用に対する助成を行う。補助率は対象経費の10分の8以内、上限100万円。



▲マイカー禁止エリア:モデル地区「高知市中心部」

(3)高知版MaaS～飲みに行ってきたMaaS～

利便性の向上

独自アンケートにより得られた「乗り継ぎが不便」「便数が少ない」といった課題に対し、MaaSを導入することで課題解決を図る。さらに、高知県民にとって欠かせない「お酒」と組み合わせることで利用促進も図る。

以上の点を考えて…

【事業概要】

県及び市町村の呼びかけにより、交通事業者、アプリ管理会社、居酒屋でMaaS推進協議会を設立する。交通事業者からは路線や運賃、居酒屋からは営業日などのデータを収集し、MaaSプラットフォームで集約する。利用者はアプリ上で公共交通のルート検索や決済ができ、利用日限定で居酒屋から1ドリンク無料のサービスを受けることができる。



▲高知版MaaSの概要

We maintain public transport for the future.



未来へつなぐ公共交通 — 3つの山を乗り越える —



香南市
地域支援課
久武 正和

越知町
総務課
弘井 知里

政策指導
(一社)日本経営協会 講師
(株)ヒロ・マネジメント
代表取締役
田中 浩

高知市
保険医療課
藤本 悠太

四万十町
企画課
谷 雅仁

◀◀◀◀ 令和2年度 ▶▶▶▶

政策研究共同研修 企画書

交通喜動隊



こうち人づくり広域連合 〒780-0870 高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館 4階
TEL 088-873-0333 FAX 088-872-7716